

目指すべき職員像および大学職員育成ビジョン

大阪体育大学では、職員一人ひとりが建学の精神に基づいた「学校法人浪商学園事務職員行動指針」（以下、「事務職員行動指針」という）を主体的に実現できる人材を育成するため、目指すべき職員像および大学職員育成ビジョンを次のとおり定めます。

1. 目指す職員像

大阪体育大学(学校法人浪商学園)の職員として学園の将来を担うという当事者意識を持ち、その使命感によって、職員一人ひとりが自ら組織の充実を目指すために「事務職員行動指針」に沿った行動を行うことで、お互いを認知、理解、共感できる集団となり、その行動が大学としての一体感を醸成します。

その為に、以下の行動指針を無意識に実践できることを目指します。

(1) 弛まぬ成長

私たちは、自ら成長を求め、絶えず挑戦します。

(2) 創造する学園経営

私たちは、時代を創造し、革新を起こします。

(3) 結束する一人ひとりの力

私たちは、互いを尊重し、チームワークを最大限発揮します。

(4) 幸せへの貢献

私たちは、社会への貢献を目指すと共に、関わる全ての人の幸福を追求します。

(5) 笑顔あふれる職場

私たちは、勇気と情熱を持ち、健全で快適な職場をつくります。

2. 大学職員育成ビジョン

大学の運営は教職協働であるとの理解から、教員では困難な業務をいかに職員が効率よくこなせるかが重要です。そのために大学職員には、教育支援、学生支援、研究支援、大学運営など多岐にわたる広範な知識の獲得や、学生、保護者、他部署の教職員、地域の人々との円滑なコミュニケーションが求められます。また、知識や経験のみではなく更に成長するために絶えず業務改善への問題意識を持って業務に取り組む姿勢が必要となります。

このように、大学職員には様々な資質が求められており、これらに応えることのできる大学職員を育成するためには、SD活動が不可欠です。

大阪体育大学では、「目指すべき職員像」を明確に掲げ、OJT、OFF-JT、自己啓発を主眼に置いたSD活動の実践を通じて、「事務職員行動指針」を主体的に実現していくことができる人材の育成を目指します。

令和4年2月24日制定